広報ぎふ９月１日号　ユニボイス版
このページには「表紙　私たちも「もしも」に備える　～災害と私たちの暮らしは隣り合わせ～」と
「年金生活者支援給付金制度のご案内」
を掲載しています。

私たちも「もしも」に備える　～災害と私たちの暮らしは隣り合わせ～

　市では、昭和51年9.12豪雨災害から50年の節目に、災害時に自分と周囲の人の命を守ることのできる人材を育てるため「未来の防災リーダー育成事業」を実施しています。8月2日の講習会に参加した市内の子どもたちは、簡易ベッドの組み立て方などを体験し、「自助」や「共助」の大切さを学んだほか、9.12豪雨災害を経験した元水防団員の話から災害の恐ろしさを「自分のこと」として実感しました。

　地震や大雨による自然災害は、私たちの暮らしと常に隣り合わせにあります。一人一人が災害を自分事として捉え、災害に強いまちを目指しましょう。

問い合わせ　危機管理課267－4763

年金生活者支援給付金制度のご案内

　公的年金などの収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するための制度です。対象者には、日本年金機構が9月初旬ごろからお知らせを送付しますので、同封の請求書(はがき)を提出してください。すでに給付金を受給している人は手続き不要です。

問い合わせ　日本年金機構「ねんきん加入者ダイヤル」0570－003－004
　(IP電話などからは03－6630－2525)、岐阜北年金事務所294－6364

このページには「市税・国民健康保険料平日夜間・休日納付相談窓口を開設」と
「障がいに関する総合相談窓口のご案内」と
「下水道への切り替えはお済みですか」
を掲載しています。

市税・国民健康保険料平日夜間・休日納付相談窓口を開設

平日の昼間、金融機関などに市税や保険料を納めに行く時間がない人や、納付についてお困りの人はご相談ください。

平日夜間　9月3日・10日・17日・24日の各㈭午後5時30分～8時

休日　9月6日・13日・20日・27日の各㈰午前10時～午後3時

持ち物　納税通知書または保険料納入通知書、本人確認できるもの（運転免許証、マイナンバーカードなど）

場所・問い合わせ　納税課（市庁舎3階・214－2098）

障がいに関する総合相談窓口のご案内

市では、市内4カ所（長良西・黒野・日野・茜部）に障がいに関する総合的・専門的な相談に応じ、必要な情報の提供や助言などを行う「基幹相談支援サテライト」を設置しています。

対象　市内在住の障がいのある人やその家族

相談方法　訪問・来所・電話

◎詳細は、市ホームページ（1004676）に掲載。

問い合わせ　障がい福祉課 214－2572

下水道への切り替えはお済みですか

●9月10日は下水道の日

下水道は、家庭の台所、トイレ、浴室などから排出される生活排水を処理場に集め、浄化してから河川へ放流することで、まちを清潔に保っています。

下水道が整備された地域では、下水道への接続が義務付けられていますので、下水道への切り替えをお願いします。

問い合わせ　上下水道事業部営業課 259－7520

このページには「医療的ケア児・者に関する理解を」と
「障がい者の法定雇用率が引き上げられました」
を掲載しています。

医療的ケア児・者に関する理解を

●9 月 18 日は「医療的ケア児・者支援の日」

医療的ケア児・者とは、人工呼吸器や胃ろうなどを使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な人のことです。この機会に医療的ケア児・者とその家族、支援者らの存在を知り、共に暮らす社会への理解を深めましょう。

●市庁舎ライトアップ

9 月 14 日㈪～18 日㈮にシンボルカラーの「パウダーブルー」で市庁舎をライトアップします。

●写真などを展示

日時　9 月 14 日㈪～24 日㈭午前 9 時～午後 8 時
(14 日㈪は午前 10 時～、24 日㈭は午後 4 時まで)

場所　市庁舎 1 階エントランスモール

問い合わせ　障がい福祉課 214-2572

障がい者の法定雇用率が引き上げられました

障がいに関係なく、誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会実現」の理念のもと、すべての事業主に、法定雇用率以上の割合で障がい者を雇用する義務があります。

この法定雇用率が令和 8 年 7 月から 2．7%に引き上げられました。

問い合わせ　岐阜労働局 職業対策課 245－1314

このページには「各務原市のひきこもり支援事業を利用できます」と
「ひきこもり出前相談を実施」
を掲載しています。

各務原市のひきこもり支援事業を利用できます　市ホームページ：1034779

　ひきこもり支援の充実を図るため、各務原市と連携協定を締結しました。この連携により、市民の皆さんも、各務原市が実施するひきこもり支援事業を利用できるようになります。利用できる事業が増えることで、ご本人やご家族が自分に合った支援につながりやすくなります。

　ひきこもりは特別なことではなく、誰にでも起こり得るものです。ご本人やご家族だけで抱え込まず、まずはお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

【利用できる各務原市の支援事業例】

・ひきこもりの状態にある人を対象とした居場所
・ご家族を対象とした家族会
・ひきこもりに関する講演会や研修会
・ひきこもりに関する相談窓口　など

問い合わせ
岐阜市：ひきこもり相談室 214－3703
各務原市：(福)各務原市社会福祉協議会生活相談センターさぽーと
　　　　　0120－198－365

ひきこもり出前相談を実施　市ホームページ：1035225

　ひきこもりに関する専門知識と支援実績のある相談員がお話を伺います。

日時　9月25日㈮午前10時30分～、午後1時～、2時30分～
場所　北部コミュニティセンター
対象　ひきこもり相談室へ初めて相談する、市内在住のひきこもりに悩むご本人やご家族
定員　各1組(先着順。定員を超えた場合は、個別に日程調整)
費用　無料
申込　申込フォーム・電話／9月8日㈫～24日㈭
問い合わせ　ひきこもり相談室 214－3703

このページには「あなたの「働きたい」を応援！～WORK!DIVERSITY 実証化モデル事業～」と
「認知症になっても安心して暮らせる社会を　～9 月は認知症月間、9 月 21 日は認知症の日～　1/2」
を掲載しています。

ワーク　ダイバーシティ

あなたの「働きたい」を応援！～WORK!DIVERSITY実証化モデル事業～

　働きづらさを感じている人の体調や悩みに寄り添って、相談しながら就労支援を行います。

内容　職業訓練・職場実習や就職後のフォローなど
対象　障害者手帳を持っていない岐阜市などに在住の人
費用　無料
申込　問い合わせフォーム・電話(平日午前 9 時～午後 5 時)
問い合わせ　(一社)サステイナブル・サポート 070－5086－5892

認知症になっても安心して暮らせる社会を
～9 月は認知症月間、9 月 21 日は認知症の日～　1/2

　認知症になってもできることがあり、周りの人の理解や支えがあれば、その人らしく地域で暮らし続けることができます。人生 100 年時代と言われる中、誰もが認知症になる可能性があります。この機会に認知症を正しく理解し、自分ごととして考えてみませんか。

●認知症月間啓発イベント　市ホームページ：1017327

【認知症に関する展示】

日時　9 月 18 日㈮～24 日㈭午前 9 時～午後 9 時
　　　(18 日は午後 1 時から、24 日は午後 3 時 30 分まで)
　　　※19 日㈯午後 2 時～3 時 30 分は認知症カフェも開催
場所　ぎふメディアコスモス ドキドキテラス

【市庁舎ライトアップ】

9 月 19 日～22 日(火・休)の午後 7 時～9 時に、認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色で市庁舎をライトアップします。

このページには「認知症になっても安心して暮らせる社会を　～9 月は認知症月間、9 月 21 日は認知症の日～　2/2」
を掲載しています。

認知症になっても安心して暮らせる社会を
～9 月は認知症月間、9 月 21 日は認知症の日～　2/2

●認知症介護者公開セミナー　市ホームページ：1033354

　認知症の正しい知識や接し方などを学びます。

日時　9 月 24 日㈭午後 2 時～3 時 30 分
場所　ぎふメディアコスモス みんなのホール
対象　認知症の人やその家族など
定員　150 人(先着順)
費用　無料
申込　申込フォーム・電話／9 月 23 日(水・祝)まで

●認知症サポーター養成講座　市ホームページ：1004589

　認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者を養成する講座です。受講者には「認知症サポーターカード」、希望者には「オレンジリング」をお渡しします。

日時　9 月 29 日㈫午後 1 時 30 分～3 時　※他の日程もあり
場所　市庁舎 6 階 6－1 大会議室
対象　市内在住の高校生以上の人
定員　100 人(先着順)
費用　無料
申込　申込フォーム・電話／9 月 24 日㈭まで

問い合わせ　高齢福祉課 214－2090

このページには「認知症市民公開講座」と
「歴史博物館オリジナルロゴマークが決まりました」
を掲載しています。

認知症市民公開講座

日時　9月19日㈯午後2時～3時30分
場所　濃飛ビル15階大会議室
内容　認知症診療の専門医による講演、質疑応答
認知症の前段階であるＭＣＩ(エムシーアイ)(軽度認知障害)について学び、認知症予防や早期発見につながる知識を紹介
定員　120人(先着順／Web(ウェブ)視聴は定員なし)
費用　無料
申込　電話・ファクス・Ｅメール／9月18日㈮まで
問い合わせ　エーザイ株式会社　岐阜コミュニケーションオフィス(080－9367－0913・FAX 266－9353・t3-kanemoto@hhc.eisai.co.jp)

歴史博物館オリジナルロゴマークが決まりました

市民投票の結果、新たなロゴマークが決定しました。
ロゴマークは、歴史博物館のシンボルマークとして、市が運営するWeb(ウェブ)サイトなど各種広報媒体に掲載するほか、オリジナルグッズなど幅広く活用する予定です。
問い合わせ　歴史博物館265－0010

このページには「第20回信長学フォーラム　―世界の岐阜城、未来の岐阜城―」と
「オクトーバー・ラン＆ウォーク」
を掲載しています。

第20回信長学フォーラム　―世界の岐阜城、未来の岐阜城―
市ホームページ：1040835

日時　11月21日㈯午後1時～4時30分
場所　長良川国際会議場メインホール
内容　基調講演「織田信長と世界」、「世界のなかの岐阜城」
　　　特別上演「信長公も聴いた西洋音楽」
　　　パネルディスカッション「世界の岐阜城、未来の岐阜城」
定員　1,500人(先着順)
費用　無料
申込　申込フォーム／9月8日㈫～11月18日㈬
問い合わせ　文化財保護課214－2365

オクトーバー・ラン＆ウォーク　市ホームページ：1041233

10月の1か月間、ウォーキングの歩数とランニングの距離をスマートフォンのアプリで計測して楽しむイベントです。

自宅近くで好きな時間にウォーキングやランニングを楽しみ、スポーツ習慣を身につけましょう。

※ウォーキングとランニングでそれぞれ専用のアプリ(無料)を利用します。
※本イベントへの参加で「オクトーバー・ラン＆ウォーク2026 岐阜県大会」にも参加できます(別途申込不要)。
◎抽選でスポーツグッズなどを進呈。申し込みは市ホームページから。

問い合わせ
岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会事務局(市民スポーツ課内)
214－2370

このページには「10月1日㈭から普通ごみを排出する際は指定ごみ袋を使用してください　1/2」
を掲載しています。

10月1日㈭から普通ごみを排出する際は指定ごみ袋を使用してください　1/2

●指定ごみ袋の種類と料金

10月1日から普通ごみを排出する際は、指定ごみ袋を使用してください。指定ごみ袋は、**販売店ステッカー**のあるスーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどで販売しています。

種類	サイズ	料金（税込） ※1組（10枚）単位で販売
家庭用	45ℓ	500円
	30ℓ	330円
	15ℓ	160円
事業用 （会社や飲食店、店舗など）	45ℓ	500円

●資源ごみの排出方法は、10月1日以降も変わりません

資源ごみ**(ビン・カン・ペットボトル、プラスチック製容器包装)**は、引き続き**無色透明または中の見える乳白色の袋**を使って排出してください。

●普通ごみの適正な排出をお願いします

ごみ出しルールに違反のある場合は、排出者に注意喚起するため、イエローカードを貼付して一定の期間、出された場所に残置しています。

10月1日から指定ごみ袋以外で普通ごみを排出される場合もイエローカードの対象になります。

※生ごみなどの鳥獣被害への配慮が必要なごみは、自治会などと協議の上、回収する場合があります。

※排出者が特定できた場合は、市が直接指導を実施します。

◎ごみの分別方法などのごみ出しルールは、市ホームページ（1012143）や、ごみ分別アプリ「さんあ～る」に掲載。

このページには「10 月 1 日㈭から普通ごみを排出する際は指定ごみ袋を使用してください　2/2」
を掲載しています。

10 月 1 日㈭から普通ごみを排出する際は指定ごみ袋を使用してください　2/2

●家庭から出る剪定枝の資源化を開始します

10 月 1 日から**ご家庭の剪定枝**は、更なる資源化を図るため、粗大ごみ自己搬入施設において無料で引き取ります。**事前に申し込みの上**、粗大ごみ自己搬入施設に持ち込んでください。

ごみの減量・資源化に、ご協力ください。

申込　粗大ごみ受付センター(243－0530)／9 月 1 日から

●剪定枝の排出方法

枝の大きさ	～9 月 30 日	10 月 1 日～
直径 3cm 以下 かつ 長さ 30cm 以下	(袋に入れて) 普通ごみ	束または袋詰めして粗大ごみ 自己搬入施設に持込(無料)
		指定ごみ袋(有料)に入れて排出可
直径 20cm 以下 かつ 長さ 1.5m以下	粗大ごみ	束または袋詰めして粗大ごみ 自己搬入施設に持込(無料)
		戸別収集をご希望の場合などは 粗大ごみとして排出可(有料)

◎詳細は、市ホームページ(1038443)に掲載。

●指定ごみ袋に関するお問い合わせ先

214－2350(環境事業課内)(平日午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分)

このページには「災害を自分事として　～9 月 1 日は防災の日～　1/3」を掲載しています。

災害を自分事として　～9 月 1 日は防災の日～　1/3

●備えの基本「自助」と「共助」

災害時に大切なことは、まず自分の身を自分で守る“自助”と、地域住民がお互いに助け合う“共助”です。日常の備えや地域とのつながりが、災害時に役に立ちます。

問い合わせ　危機管理課 267－4763

◆自助

・ハザードマップで危険な箇所や避難経路を確認
・１週間家族が生活できる物資を備蓄(携帯トイレ・食料・水など)
・家具の転倒防止対策の実施
・正確な災害情報を得るため、ぎふ防災安心メールに登録

◆共助

平成 7 年の阪神・淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された人の約 3 割が、近隣住民などに救出されました。

【地域活動に参加しましょう】

災害時に避難所運営などを行う自主防災組織を担う自治会では、日頃から夏祭りや運動会、清掃活動などを行っています。地域活動に積極的に参加し、顔の見える関係をつくりましょう。

〈熊本地震被災地支援〉

令和 8 年熊本地震の被災地を支援するため、岐阜市からも熊本県へ職員を派遣しています。

被災地では、災害派遣精神医療チーム(ＤＰＡＴ(ディーパット))などによる医療支援活動や、応急給水活動など被災者の生活を支える活動に取り組みました。今後も被災地の状況に応じた支援を行っていきます。

このページには「災害を自分事として　～9月1日は防災の日～　2/3」を掲載しています。

災害を自分事として　～9月1日は防災の日～　2/3

●9.12豪雨災害から50年

昭和51年9月に発生した「9.12豪雨災害」では、長良川やその支川が著しく増水し、多くの住宅が水につかったほか、道路の冠水や交通機関への影響も生じ、市民生活は深刻な影響を受けました。

岐阜県史上最悪の水害ともいわれる昭和51年9月12日の豪雨災害を風化させることなく次世代へ継承するため、身近なところで起こった災害を振り返り、いつ起きるかもしれない災害に備えるきっかけにしましょう。

◆9.12豪雨災害の写真を募集　市ホームページ：1041319

被害の状況や人々を守るために行われた活動を振り返り、次世代へ継承するため「9.12豪雨災害」の写真を募集します。提供いただいた写真は、今後イベントなどで利用するほか浸水AR(エーアール)アプリ「みずくる」に掲載します。

<u>募集期間</u>　9月1日㈫～18日㈮

<u>対象写真</u>　9.12豪雨災害(安八豪雨)当時の写真(浸水や避難の様子、災害後のまちなみ、地域住民による助け合いの様子など)

<u>提供方法</u>　提供フォーム・窓口

◆市庁舎ライトアップ

亡くなった方への追悼と過去の大規模災害を思い起こすため、市役所本庁舎を青色にライトアップします。

<u>日時</u>　9月9日㈬～13日㈰の午後7時～9時

【共通】問い合わせ　水防対策課214－4854

このページには「災害を自分事として　～9月1日は防災の日～　3/3」を掲載しています。

災害を自分事として　～9月1日は防災の日～　3/3

●防災・消防を楽しく学ぶ

防災・消防に関する展示や体験などを通して、日常の備えや地域とのつながりについて考え、一人一人が「もしも」に備えましょう。

◆ぎふ防災マルシェ2026×消防フェスタ

市ホームページ：防災マルシェ(1040953)、消防フェスタ(1040826)

日時　10月3日㈯・4日㈰午前10時～午後4時　　　費用　無料

場所　マーサ21

●事前申込が必要な体験

・はしご車搭乗体験　・バギー乗車体験

申込　岐阜市LINE公式アカウント／9月1日㈫～15日㈫
　　※申込者多数の場合は抽選

①岐阜市LINE公式アカウントを友だち追加

②トーク画面の基本メニューから「消防フェスタ申込はコチラ」を選択

③体験ごとに必要事項を回答して申し込む

●当日参加可能な体験

・イベントステージ　・防災体験・展示ブース　・防災自由研究展示

・地震体験　・VR(ブイアール)・AR(エーアール)による災害体験

・消防音楽隊屋外コンサート(3日のみ)　・9.12豪雨災害パネル展示　など

〈注目イベント〉

●未来の防災リーダー　自由研究発表会

「未来の防災リーダー講習会」の受講者が、自由研究の成果を発表します。子どもたちの発表から防災について考えてみませんか。

日時　10月3日午後1時～　　　場所　マーサスクエア

※その他にも多数イベントあり。
　天候などにより、内容変更・中止の場合があります。

問い合わせ　危機管理課267－4763、消防総務課262－7161